

平成25年度一学期 学校自己評価表

鶴岡小学校

○ 1学期間の教育活動 教職員自己評価集計 回答数 教師30 保護者340

※「自己評価」…4段階評価

A: そう思う(十分達成) B: 大体そう思う(おおむね達成) C: あまりそう思わない(課題がある) D: そう思わない(おおいに課題が

記述欄 ○保護者:成果 ●保護者:課題 □教師:成果 ■教師:課題

重点目標	評価指標 (具体的方策)	評価目標	回答率(%)				達成状況と2学期に向けての改善点
			A	B	C	D	
学校教育目標・具現化	教育目標	各学年に応じた「進んで学ぶ子」が育っている。	教 17	保 57	26	0	■昨年より教師の認識は低い。B→C 5% ○保護者の8割はおおむね満足している。
		各学年に応じた「思いやりのある子」が育っている。	教 17	保 53	30	0	■昨年より教師の意識は低い。B→C 10%
		各学年に応じた「明るくたくましい子」が育っている。	教 20	保 67	13	0	■昨年より教師の意識は低い。B→C 5% ■元気づけタイムの意欲継続に課題。 ○楽しそうに学校生活を送っている。
	校務分掌	責任を持って校務分掌を担当し、提案に沿った組織的な取組がなされている。	教 34	保 60	3	3	□Aが14%アップ、分掌・組織が機能している。
			24	64	11	1	
	職員会議	職員会・運営委や職朝・終会は、情報交換、提案、連絡調整の場として機能している。	教 37	保 57	3	3	□運営委、OENともに機能的に運営できている。 ■時間オーバーが日常化している。 ●しっかりとした方針を先生方が持ってほしい。
			22	63	14	2	
研修	研修は、児童の実態や学校の課題をふまえたものになっている。	教 20	保 73	7	0		
		22	65	12	1		
教育課程	教育課程は実施状況を点検・調整しながら、改善を行っている。	教 27	保 73	0	0		
		25	63	11	1		
(1) 節度・落ち着き	① チャイム着席学習準備	チャイム着席や授業の準備が徹底できている	教 20	保 67	13	0	□昨年同時期に比べ飛躍的に向上している。
	② 明るい挨拶ことばづかい	明るいあいさつや正しい言葉づかいができる子どもづくりと指導を実践している	教 23	保 47	30	0	○昨年よりあいさつが上手な子が増えた。 ●あいさつしない子が多い(特に高学年女子) ●学校、家庭の双方で指導が必要。 ●小学校にあがりことば遣いが悪くなった。
	③ 心を育てる集団づくり	心を育てる授業の工夫や互いを認め合える集団づくりを工夫している	教 30	保 57	13	0	□B→A 15%向上 ○縦割り班活動の学年間交流がよい。
(2) 学力向上・組織的実践	① 校内研修の組織的運営	学力向上に向けた校内研修が組織的に運営されている	教 33	保 67	0	0	□互見授業授業週間の取り組みを全学年実施し、研修体制の推進に役立った。
	② 家庭学習の推進	家庭と協力して家庭学習の習慣確立に向けた実践を行っている	教 27	保 47	26	0	□Aが15%アップの反面Cも増加、二極化が進む？ ●家庭学習の内容が授業のレベルに合っていない。 ●量を減らしてほしい。 ●宿題しかなないので困る。
	③ 読書活動の推進	家で教科書を音読したり、すすんで読書に取り組むための指導が行われている。	教 17	保 63	20	0	■家読書の意識づけはまだ不十分
	④ 家庭と連携した学習の推進	家庭と協力して家庭学習の習慣確立や読書推進のための取組が行われている。	教 17	保 53	30	0	■指導が必要な家ほど連絡がつきにくい。 ■家庭学習チェック週間等を通して意識化を図る ●宿題の〇つけを親がするのはおかしい。
(3) 教職員の資質向上・OJT・授業改善	① 1時間完結型授業の推進	1時間完結型授業に努め、わかる授業、楽しい授業を行うための方策を考え実践している。	教 40	保 60	0	0	□Aが15%アップ。教師の意識向上。 ○授業が工夫されている。 ●発表の音が小さくて何を言っているのか…
	② 話し合い活動の充実	進んで話し合いに参加し意見を発表できる児童の育成とそのための方策を行っている	教 17	保 70	13	0	□昨年より話し合い活動が飛躍的に充実している
	③ 進んで読書をする子の育成	読書活動の充実を図り、意欲的に読書に取り組む児童の育成に向けた指導と工夫を行っている	教 34	保 53	13	0	□昨年より読書活動の指導、推進が向上した。
	④ 学テに向けたスキル向上	わかる授業の工夫や、国、算、理の単元テストを想定した問題演習等によるスキルアップの取組	教 44	保 53	3	0	□専科・少人数指導等スキル学習の効果的実施。
(4) 地域に開かれた学校づくり	① 情報発信・情報交換	学校や子どもの様子を積極的に知らせ、保護者の声にも耳を傾けている。	教 30	保 63	7	0	○通信があるので助かる。(もっと出してほしい) ○連絡帳で返信等あるので助かる。 ●必要なときは連絡帳等で個別の連絡が欲しい。 ●行事等は早目の連絡を(特に今年は…)
	② 「ひとものこと」の活用	地域人材・素材を取り入れた学習を行っている。(協育コーディネーター、「かあちゃんの会」等)	教 37	保 63	0	0	□多くの協力・連携が得られた。 □コーディネーターがいるので助かる。 □かあちゃんの会の協力が非常にプラスに。
	③ 安全・安心・信頼の確立	保護者や地域と連携した安全指導を行い、学校・学級運営にも協力が得られている。	教 40	保 60	0	0	□メール活用による情報提供が効果的。